

「課題名： 慢性肝疾患コホート研究 」について

○研究の意義・目的

慢性肝疾患は、慢性肝炎から肝硬変、肝臓癌に進行していく疾患でありほか、日常生活に支障を来す腹水貯留、肝性脳症や消化管出血の危険性のある食道胃静脈瘤を合併するケースもあります。これらは慢性肝炎の経過中にどのように発症していくかは、いまだ不明な点もいまだ多く、本研究によってあきらかになります。

○研究の方法

*研究対象者

承認後から2021年8月1日までに、広島大学病院で慢性肝疾患にて通院中の患者さんを対象とします。

*研究方法

本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は病歴、血液尿検査結果、画像所見、病理所見などの臨床検査結果です。(個人が特定出来る情報は転記しません)

(研究期間 承認後～2025年4月1日)

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5192

広島大学病院 消化器・代謝内科 相方浩(研究責任者)

河岡友和(担当者)